

町田義典・曾根保育園長 少子化対策を政治に期待

町田義典園長

1960年生まれ。地元の高校から岡山県内の大学に進学。製薬会社や厨房機器製造会社などに勤務。2008年に園長に就任した。趣味はプラモデルづくり。



保育士の問題について意見を交わす吉村悠(右)と町田さん

北九州市小倉南区津田新町の認定こども園「曾根保育園(町田義典園長)」は1972年に設立された「老舗」の保育園です。自民党第10区支部長の吉村悠が、保育園を訪れました。(文中、敬称略)

吉村 全国では約10万人の保育士が不足と言われています。曾根保育園はいかがですか。

町田 曾根保育園の入所定員は120人です。現在の園児数は117人で、常勤保育士15人、パート保育士は22人が保育にあたっています。時間は午前7時から午後7時まで。共働き世帯も増えていることから、土曜日も平日と同じように開園しています。常勤の保育士をあと3人の採用できれば、余裕を持った勤務シフトが組めるのですが、それでも「完全週休2日」にするのはなかなか難しい状況です。

吉村

一日保育士体験をしたことがあります。わずかな時間をともにした

だけの間に、数か月後、別の場所です。子どもから

「はるか先生！」と声をかけられて驚いたことがあります。

また、大人には短い時間でも、保育園に通う幼い子どもにとつては、濃密なかけがえのない貴重な時間だと思っています。エッセンシャル

ワーカーなのに、保育士の給与の低さや離職率の高さが指摘されていると聞いています。

町田 給与は少しずつですが、上がってきています。

自分の子どもを育てている保育士もおり、柔軟な勤務で働きやすい職場となるように気を配っています。

復職後は、元のポジションでそのまま復帰できるようにしています。

保育士の仕事は、保育だけでなく、連絡帳などの文書作成、保護者対応など多岐にわたります。一人ひとりの業務の負担が多い労働環境の中で「持ち帰り残業が多い」「労働時間が長い」「休日が取れない」などの問題もあります。少しでも現場の負担を減らすため、新型コロナウイルスの感染が広がったころは、保育園に泊まり込んで、保護者からの問い合わせ、職員の感染防止にあたっていました。

吉村 老舗の保育園ですが、以前と変化はありますか。

町田 園長になって、20年近くになりました。子ども

の数が少なくなったためか、わが子への愛着がより強くなったような気がします。

各クラスに監視カメラを設置しました。子ども同士のけんかをした場合でも、音声付きの映像があれば、保護者に対し、よりしっかりと説明することができます。

吉村 子どもの数が減るなかでの運営は、苦労もありでしょうね。

町田 2024年の出生数がとうとう70万人を割り込みました。

これからは「選ばれる園」と「選ばれない園」に分かれて、当然のことながら閉園に追い込まれる園もあるかもしれません。曾根保育園では毎月19日の食育の日には調理員による絵本の読み聞かせを行うほか、野菜の栽培、調理体験などを通じて、食への関心を深めています。

とにかく政治には少子化対策に力を入れてほしいと思っています。

吉村 国や地方自治体も、妊娠・出産の支援や小児医療体制の拡充などに取り組んでいます。十分とは言えません。若者が結婚や出産が大きな喜びと思えるような政治の後押しが何より求められていることがよく分かります。



【発行者】自民党福岡県第十選挙区支部

吉村はるか
後援会事務所

〒802-0802
北九州市小倉南区域野4-1-30
TEL:093-951-5757
FAX:093-951-5758

門司事務所

〒800-0031
北九州市門司区高田1-18-1
若菜ビル
TEL 093-342-7170

活動発信中!

